

## 「市長と話し合う会」を開催します



参加を希望される方は、直接会場にお越しください。

事前のご意見・ご要望などの受け付けは締め切りましたが、当日の進行状況次第で、お時間があれば、質問等が出来ます。奮ってご参加ください。

### ◆開催日時・場所（定員）

1. 11月2日㊤ 13時30分～15時30分、  
市役所市民室（定員150人）
2. 11月8日㊤ 13時30分～15時30分、  
本納公民館（定員100人）

お問い合わせは、秘書広報課（3階）

☎(20)1512、FAX(20)1601へ。

お問い合わせは、  
国保年金課（2階）  
☎(20)1503、FAX(20)1600へ。

健康測定（希望者）  
◆受付 12時20分～  
◆測定 12時30分～13時50分  
◆定員  
・姿勢測定（先着50人程度）  
・血流測定（先着40人程度）  
◆受講料  
特別講演会、健康測定とも  
無料  
※申込は不要です。直接会場  
にお越しください。

## 11月は市税収納対策強化月間です。 忘れずに納付しましょう！

国民健康保険税（第5期）の納期限は、12月1日㊤です。最寄りの金融機関もしくはコンビニエンスストアで納付してください。納期内に納付できない事情のある方は、ご相談ください。

また、納税には便利な口座振替をご利用ください。口座振替をご利用いただいている方は、振替結果を預貯金通帳への記帳でご確認ください。

お問い合わせは、収税課（2階）

☎(20)1578、FAX(20)1609へ。

# 市長が行く

## 地方創生と地域医療

No.65

茂原市長 田中豊彦



この地域の医療については、今までにも何回か書いてきましたが、ここへきてさらに厳しい状況になってきています。

ひとつには、産科の問題です。東金市の産婦人科医院が今年度いっぱい産科をやめて、婦人科だけの診療になることになり、茂原で産科診療を行っている医院も危機感を募らせております。今の山武

長生夷隅医療圏の中では、産科の数が少なく、今回の産科の取りやめは、茂原の2つの産科医院に過度の負担を強いることになり、続けられなくなる可能性があります。このままいけば、この地域で子供を産みたくても産めないという深刻な状況をもたらすことが想定されます。

また、長生病院においても、常勤医師の退職等々により、地域中核の公立病院としての医療提供体制がまだまだ十分とは言えません。さらに医師や看護師の確保についても大変

苦慮しております。そのため、国や県等にお願ひしているところですが、現時点では満足する結果が出ておりません。

国は地方創生を高々と唱えています。医療問題一つをとっても、地方の現状を果たしてどこまでとらえているのか、非常に疑問を感じます。子供を安心して産める環境なくしては少子化の解決は見えてきませんし、地域医療がしっかりしなければ安心な生活環境は生まれません。

平成17年に医療制度改革が行われ、それまで定期的に千葉大学から医師の派遣が行われていた制度が充分機能しなくなり、千葉県の地域医療は、激変したといわれています。

千葉大学医学部を卒業しても、千葉県の医療に携わる医師は少なくなりました。その上、この千葉県では、医師を輩出する大学（医育大学）が千葉大学ひとつしかありません。千葉大学は、千葉県の医

療政策を担う重要な大学であり、先頭に立って地域医療を支えてもらわなければなりません。それが県唯一の医育大学の責任でもあると考えております。もし、千葉大学だけでこの責任を果たすことが難しいのであれば、一日も早く地域医療を充実させるための新しい医育大学を県内に創るべきだと考えます。

先日、全国の医育大学が新たな医育大学の設置に反対しているとの話を耳にしました。それが事実なら、大変な問題だと思えます。国は、医師の都市部への偏在や診療科の偏在対策、医育大学の増設等を早急に進めるべきです。経済も農業も大事ですが、安全で安心して住める環境をつくり出すことが、行政としての大きな役割でもあると思います。一日も早く医療の抜本的な対策を打たなければ、地方創生は夢のまた夢に終わると思います。